



くみあい くみあいちよう  
河北いちご組合 組合長

つかわ  
角川 なおみ さん

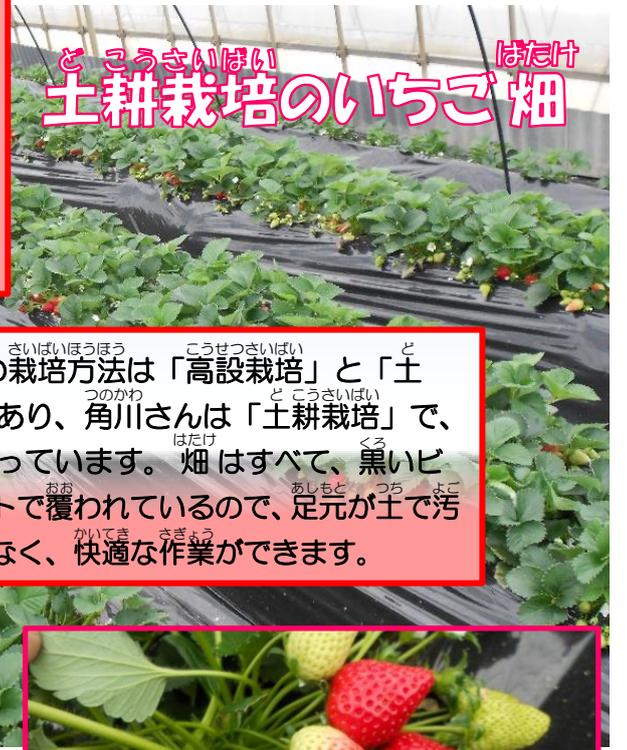


かほくちよう とくさん ところ つく はじ  
河北町の特産いちご「おとめ心」を作り始めて  
26年くらいになります。去年の10月に苗を植えて  
3月下旬からから6月上旬くらいまで、「おとめ  
心」が楽しめます。朝取りのおいしい「おとめ心」  
は、早朝4時から収穫をしています。

「おとめ心」は味はもちろんのこと、実の形や色つ  
やが良く、何よりいちごの甘い香りが強いのが魅力  
です。「おとめ心」があると、隠していても部屋中に  
甘い香りが広がるので、すぐわかってしまいます。

みなさんがいちごを食べて喜んだり、しあわせな  
気持ちになってくれることが、私のがんばるエネ  
ルギーになります☆彡 いちごで楽しいひとときを過  
ごしてくれたら、とてもうれしいです♡(^o^)  
河北町の「おとめ心」でHAPPYになりましょう!

とこうさいばい ぼたけ  
土耕栽培のいちご畑



いちごの栽培方法は「高設栽培」と「土  
耕栽培」があり、角川さんは「土耕栽培」で、  
いちごを作っています。畑はすべて、黒いビ  
ニールシートで覆われているので、足元が土で汚  
れることがなく、快適な作業ができます。



ひとつの苗からたくさんの  
いちごができるので、いちご  
の实がしっかり育つように、  
手作業で枯れた葉をこまめに  
取り除いたりします。



受粉の仕事をするみつばちにとって、活発に活動できる気温は20度以上です。みつばちが一番見つけやすい色の「青いシート」にくるまれた「巣ぼこ」には、およそ6,000匹きほひいます！みつばちたちががんばって受粉の仕事をしてくれることも、形のよい、おいしいいちごがでかあがる大事なポイントです。



つのかわ 角川

えがお すてき チャーミング かた 角川さんは笑顔が素敵でcharmingな方です



なか あま かお ビニールハウスの中は、いちごの甘い香りに つつまれて、とても感動しました♡



みず 水やりは、まいにち あさ 毎朝、朝のいちごの葉っぱの状態をみて判断します。上の写真の緑のcockをひねると、水まきができます。



うえ からみると 葉っぱにかくれています、大きくて美味しそうないちごがたくさん！ 角川さんから取ってもらいその重さをはかってみると、大きいものは35、5グラムもありました。(写真左) 中くらいのものは、24グラムありました。(写真右) 食べるときは、口に入れて噛んだ時の香りを楽しみながら、あじわって食べてみてください☆☆☆☆